

「電帳法/インボイス対応による業務効率化・自動化」に関する 3社合同オンラインセミナーを開催

株式会社システム情報（本社：東京都中央区、代表取締役社長：鈴木 隆司、東証プライム：3677）は、リック・アンド・カンパニー合同会社、パナソニック ネットソリューションズ株式会社との共催オンラインセミナー「専門家が語る！電帳法/インボイス対応による業務効率化・自動化のススメ」を開催いたします。

電子帳簿保存法改正の義務化が残り1年と迫るなか、対応方針の決定や電帳法に準拠したシステムへの見直しは企業における喫緊の課題となっています。また、実際にシステムを導入する際のデータ連携方法やAI-OCR（*1）を活用した記載情報の電子化、人の手を介さず各システムからのデータを連携するためのRPA（*2）やETL（*3）の活用など、周辺業務のDX推進においても絶好のタイミングとなります。このセミナーが参加企業のDX（*4）推進の一助となればと考えております。

■開催概要

電子帳簿保存法とインボイス制度で企業が考えなければならない社内業務の変化について、リック・アンド・カンパニー合同会社の会計士が専門家目線で解説いたします。

講演の後半では、パナソニック ネットソリューションズとシステム情報より、業務効率化・自動化を進めるためのポイントについて、各社ソリューションの活用事例を交えながらご紹介します。

※本セミナーではZoomを使用します。

対象	・ 企業経営者様 ・ 会計部門ご責任者様 ・ 情報システム部門ご責任者様 ・ DX推進部門ご責任者様
開催時刻	2022年12月16日（金） 14：30～16：00
タイム テーブル	14：20～14：30 受付 14：30～14：35 本日のセミナーについてのご紹介 14：35～15：20 基調講演（リック・アンド・カンパニー合同会社） 『長いようで短いあと1年。結局いつまでに、何をやればよいのか？会計士が語る、改正電帳法とインボイス制度への対応方法』 15：20～15：35 プログラム①（パナソニック ネットソリューションズ株式会社） 『電子帳簿保存法の猶予期間迄 1 年。証憑保管×経費精算で業務改革を実現！』 15：35～15：50 プログラム②（株式会社システム情報） 『電帳法対応を自動化！システム連携事例のご紹介』 15：50～16：00 質疑応答
講演者	リック・アンド・カンパニー合同会社 代表CEO 齊藤 佳明（公認会計士） パナソニック ネットソリューションズ株式会社 営業本部 第一営業部 石毛 優衣 株式会社システム情報 営業企画本部 部長 井上 和久

【リック・アンド・カンパニー合同会社について】

電帳法対応コンサルティングに特化した、企業の課題解決をする業務変革の専門家集団です。

大手監査法人出身者のメンバーを数多く揃えており、専門家による法令及び実務の観点から最適なソリューションを提案しプロジェクトをリードすることによって、これまで数多くの、様々な業種業態の企業に電帳法導入・業務電子化のご支援を行ってまいりました。

【社名】リック・アンド・カンパニー合同会社

【代表者】代表CEO 齊藤 佳明（公認会計士）

【本社】〒150-0041 東京都渋谷区神南1-5-6

【設立】2021年

【資本金】300万円

【URL】<https://ric-grp.com/>

【パナソニック ネットソリューションズ株式会社について】

ワークフロー事業と映像監視事業を柱とし、業務効率化・業務改善や安全・安心の実現に総合的に取り組んでおります。20年以上の豊富な経験・ノウハウを活かして開発したワークフローパッケージ「MAJOR FLOW Z」は、多くのお客さまから高い支持をいただいています。

また、映像監視システム「ArgosView」とクラウド録画サービス「Ciero」をコア技術とした映像ソリューションは、国内VMS市場においてシェアNo.1※を獲得しており、ご好評いただいています。

【社名】パナソニック ネットソリューションズ株式会社

【代表者】代表取締役社長 南部 和彦

【本社】〒104-0045 東京都中央区築地5丁目3番3号 築地浜離宮ビル12F

【設立】2008年1月30日

【資本金】7,000万円

【URL】<http://pnets.panasonic.co.jp/>

※富士経済「2017～2021 セキュリティ関連市場の将来展望」

（*1）OCR（Optical Character Recognition/Reader:光学的文字認識）：印刷文字、手書きの文字などをイメージスキャナーやデジタルカメラで読みとり、デジタルの文字コードに変換する技術

（*2）RPA（Robotic Process Automation）：データ収集や転記など、バックオフィスの定型業務を自動化・代行するツールのこと

（*3）ETL：Extract（抽出）、Transform（変換）、Load（格納）の略称で、様々なデータベースやシステムからデータを抽出・収集し、用途に応じて変換・加工したうえで、その先にある格納先に有用な情報として配信・送出する一連のプロセス

（*4）DX（Digital Transformation）：企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること

■セミナー申し込み URL

<https://campaign.sysj.co.jp/seminar/denchouho/20221216>

以上

<お問合せ先>

営業企画本部

03-5547-5702

e-mail:sales@sysj.co.jp

[お問い合わせフォーム（サービス・ソリューション）](#)